

## 平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年度は、実質 2 年目を迎えるきよみず苑・京都東と既設の東旺苑および百々デイサービスセンターが安定した事業運営が行えるよう収入や人材の確保、経費等の支出の見直し、また「利用者へのサービス向上」や「職員のやりがいと生きがいのある職場環境の実現」など法人の理念や基本方針を実現すべく種々の取組を行った。

東旺苑は施設の老朽化や入居者の重度化が顕著であるもののチームケアの強化等により概ね例年通りの運営ができ、百々デイサービスセンターは 27 年度に利用定員の変更を行ったことよって 28 年度は地域密着型へ移行となり介護報酬単価がアップし収支が改善、黒字転換することができた。また法人の通所介護事業の一本化(デイサービスセンターきよみず苑へ統合)による通所介護サービスの向上と効率化をはかるため 28 年度の京都市の指定管理期間満了をもって京都市からの百々デイサービスセンター受託運営を廃止するとともに、同センター利用者が引き続き必要なサービスが混乱なく又切れ目なく利用していただけよう円滑に移行調整等を行い、京都市立会いのもと 29 年度から同センターを受託運営する次期指定管理法人へ滞りなく施設や京都市の備品等の引継ぎを完了した。

きよみず苑・京都東は、前年度に比べ収支改善は進んだが、特に職員の定着率の低さから職員不足が続いたショートステイ部門と、入居者の加齢による疾病の進行や介護度の悪化による退居が増加したサービス付き高齢者向け住宅については目標数値には至らず次年度へ尚も課題を残す結果となった。

### ➤ 法人本部

#### 1 利用者へのサービス向上と経費の削減

28 年 6 月に委託給食会社を変更し施設入居者や利用者の大きな楽しみである食事の向上を図った。その結果、施設利用者のみならず配食サービスの新規利用者も増加し、同時に大幅な経費の削減にも繋げることができた。また電力の自由化を利用し東旺苑ときよみず苑において 8 月より電力供給会社を変更しコストカットを進め、さらにコピー用紙などの事務用品や消耗品などを三施設一括購入するなどにより積極的に経費の削減に取り組んだ。

#### 2 職員の確保と定着への取組み（職員処遇の改善）

法人の事業運営に「必要かつ優秀な人材の確保」と「職員のやりがいと生きがいのある職場環境の実現」を目指し、28 年 6 月に就業規則の改定を行った。これにより介護資格の有無に関わらず経験や能力・実力の備わった非正規職員や派遣職員を幅広く正規職員として登用できる制度に改め、また給与制度についてもこれまでの勤務年数による一律の俸給制から勤務成績や人事考課と連動した等級制に変更し、併せて所有資格・職務・職位に応じた各種手当の再整備などにより職員のキャリアアップとモチベーションアップに繋げ、法人に定着してもらえるよう制度を改定した。そしてそれらを円滑に運用するため労働局の「キャリアアップ助成金制度」の認定を受け、28 年 8 月に 2 名を非正規職員から正規職員へ登用し、28 年 9 月に派遣職員 1 名を正規職員として登用した。今後 5 年間の助成金受給期間中に積極的登用を行い必要かつ優秀な人材確保に努める。

その他、28 年度において「障害者雇用による助成金」や「特定求職者雇用開発助成金」を活用し、東旺苑にて障害者や高齢者の雇用を行った。

また介護職員の介護負担軽減のため、国が実施する「介護ロボット導入」助成金制度を活用しほぼ全額の補助を受け、東旺苑およびきよみず苑に各 3 台ずつ介護ロボット(体動や心拍数を感知するベットセンサーシステム)を導入・現場に設置し、施設利用者の介護サービス向上にも活用できた。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑

平成 28 年度は、前年度に引き続き、算定加算の継続に努めるとともに、入所希望者を随時受け付けて定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入・退所に努めた。医務の協力もあり入院者は昨年度より下回る事ができた。また、前年度に引き続き入所辞退をする女性待機者が多かった為、下半期に女性居室を 1 部屋減らし、男性居室を増やし対応した。

3 月度にはインフルエンザが苑内で発生したが、看護部の協力と指導により利用者 7 名・職員 3 名の罹患に留める事ができた。

前年度に引き続き、京都市の三者機関としての取り組み「介護相談員派遣事業」の受け入れを継続している。

1 入居の状況 (平成 28 年度)

	入居者数 (人)			満床時 延人数 (人)	延人数 (人)	充足率
	男性	女性	合計			
4 月	4	46	50	1,500	1,408	93.9%
5 月	5	45	50	1,550	1,493	96.3%
6 月	5	46	51	1,500	1,427	95.1%
7 月	5	46	51	1,550	1,473	95.0%
8 月	7	44	51	1,550	1,406	90.7%
9 月	8	43	51	1,500	1,367	91.1%
10 月	8	41	49	1,550	1,424	91.9%
11 月	8	43	51	1,500	1,422	94.8%
12 月	9	41	50	1,550	1,424	91.9%
1 月	9	42	51	1,550	1,463	94.4%
2 月	10	41	51	1,400	1,400	100%
3 月	10	41	51	1,550	1,495	96.5%
合計	88	519	607	18,250	17,209	94.3%
平均	7.3	43.3	50	—	—	—

参考 平成 27 年度 年間合計充足率 95.4%

2 入院の状況 (平成 28 年度)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
人数 (人)	3	2	4	5	6	3	
延人日 (人日)	12	49	69	65	100	120	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数 (人)	7	5	5	3	0	4	47
延人日 (人日)	95	42	47	24	0	55	678

参考 平成 27 年度の入院者数は、延べ 54 人で延べ日数は 727 人日

3 入・退居の状況 (平成 28 年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
7	5	3	1	16	0	5	8	0	13

4 入居者の介護度 (平成 28 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.0%
介護度 2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2%
介護度 3	20	22	21	22	23	18	16	18	19	20	21	21	39.7%
介護度 4	13	11	13	12	13	16	16	15	14	14	15	15	27.5%
介護度 5	15	16	16	16	14	16	16	17	16	16	14	14	30.6%
平均	3.8	3.82	3.77	3.78	3.78	3.8	3.94	3.92	3.88	3.86	3.80	3.80	3.83

参考 平成 27 年度の介護度は 1 から 2%・2%・36.6%・31.4%・28%  
平均介護度は、3.81

5 入居者の年齢構成 (平成 28 年度末現在)

	～64	65～	70～	80～	85～	90～	95～	100～	計
人数	0	1	7	11	16	10	5	1	51
割合	0%	2.2%	13.7%	21.6%	30.9%	19.6%	9.8%	2.2%	100%

6 入居者の入居期間 (平成 28 年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	16	8	5	9	2	2	1	
割合	31.3%	15.7%	9.9%	17.6%	3.9%	3.9%	2%	
	7年～	8年～	9年～	10年～	15年～	20年～	25年～	計
人数	3	2	0	2	0	0	1	51
割合	5.9%	3.9%	0%	3.9%	0%	0%	2%	100%

7 保険者の状況 (平成 28 年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	上京区	大津市	中京区	右京区	向日市	門真市	計
人数	34	5	3	3	2	1	1	1	1	51
割合	66.6%	9.7%	5.9%	5.9%	3.9%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 特別養護老人ホーム東旺苑（ショートステイ）

平成 28 年度において、緊急的なニーズや新規利用者（19 名）の受入を積極的に行った。新規利用者 19 名のうち 8 名は継続利用へ繋がっている。特養の空床利用を積極的に活用する事で、結果稼働率で前年度を大幅に上回る事ができた。また 3 月度特養部で発生したインフルエンザについて、ショートステイ利用者は 1 名の罹患もなく終息を迎える事ができた。

1 利用の状況（平成 28 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	2	11	13	120	107	89.2
5 月	1	10	11	124	132	106.5
6 月	1	9	10	120	124	103.3
7 月	1	10	11	124	128	103.2
8 月	2	11	13	124	131	105.6
9 月	3	11	14	120	132	110.0
10 月	5	9	14	124	151	121.8
11 月	3	8	11	120	90	75.0
12 月	4	12	16	124	144	116.1
1 月	4	11	15	124	135	108.9
2 月	4	11	15	112	134	119.6
3 月	3	9	12	124	141	113.7
合計	33	122	155	1460	1,549	
平均	2.75	10.2	12.9	121	129.1	106.1

参考 平成 27 年度の平均利用者数は 12.2 名、稼働率は 84.6%

2 介護度別の延利用者数（平成 28 年度）

（日）

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	13	18	57	19	107	3.15
5 月	0	25	21	67	19	132	3.18
6 月	0	14	26	67	17	124	3.30
7 月	0	9	36	68	15	128	3.36
8 月	0	13	33	75	10	131	3.31
9 月	0	19	37	46	30	132	3.29
10 月	0	23	34	94	0	151	3.29
11 月	0	8	29	53	0	90	3.36
12 月	2	26	60	56	0	144	3.0
1 月	3	43	53	36	0	135	2.93
2 月	2	40	72	11	0	125	2.73
3 月	5	25	70	10	0	110	2.67
合計	13	260	492	644	115	1,509	
平均	1.1	21.7	41	53.7	9.6	125.8	3.13

参考 平成 27 年度の平均介護度は 3.06

3 利用者の年齢構成（平成 28 年度末現在）

	～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計
人数	0	0	0	0	0	1	2	0	3
割合	0%	0%	0%	0%	0%	33.3%	66.7%	0%	100%

➤ 配食サービス事業

利用の状況 (平成 28 年度)

	要介護 (500 円)	同居 (670 円)	自立 (750 円)	合計
4 月	303 食	—	—	303 食
5 月	298 食	—	—	298 食
6 月	284 食	—	—	284 食
7 月	248 食	—	—	248 食
8 月	260 食	—	—	260 食
9 月	276 食	—	—	276 食
10 月	281 食	—	—	281 食
11 月	257 食	—	—	257 食
12 月	260 食	—	—	260 食
1 月	261 食	—	—	261 食
2 月	245 食	—	—	245 食
3 月	248 食	—	—	248 食
合計	3,221 食	—	—	3,221 食
1 日平均	8.8 食	—	—	8.8 食

参考 平成 27 年度は、1 日平均 8.6 食

委託給食会社の変更後、評判がよく新規利用者は増えているが、高齢化に伴い継続利用者の施設入所等による中止件数も増えている。

○研修受講状況 (平成 28 年度)

施設内研修

28. 05	褥瘡と感染症について
--------	------------

施設外研修

28.4	介護支援専門員研修
	市老協食事部会 食の歳時記
28.5	市老協相談員部会 家族との関わりについて
	京都市集団指導
28.7	市老協相談員部会 緊急措置入所システムについて
	市老協食事部会 管理栄養士のあり方について
28.9	市老協食事部会 他施設敬老会見学
28.11	介護支援専門員更新研修
	市老協食事部会 嚥下障害について
	市老協 介護の日記念事業
	市老協山科区地域貢献プロジェクト はげましの会公開講座
	キャリアパス対応研修 中堅職員コース
28.12	市老協山科区地域貢献プロジェクト 山科区民まつり出店
	キャリアパス対応研修 初任者コース
	市老協食事部会 経口摂取について
	京都市認定調査員現任研修
29.1	リスクマネジメント研修
29.2	送迎車安全運転実技講習会
	COPDと呼吸リハビリテーションについて
29.3	市老協合同研修会 看取りケアについて

## ○行事実施状況（平成 28 年度）

4月	食事レク（焼売・ラーメン）・花見レク（外出）・外食レク・買い物レク
5月	食事レク（冷やしうどん）・買い物・外食レク・母の日レク（マジックショー）
6月	食事レク（焼売・ラーメン）・外食レク（昼食）・買い物レク
7月	食事レク（冷やしうどん）・七夕レク
8月	花火大会（苑庭）・百々学区夏祭
9月	食事レク（流しそうめん）・敬老祝賀会
10月	食事レク（ハンバーガー）・清水焼の郷祭・外食レク（昼食）・買い物レク
11月	食事レク（スイートポテト）（お好み焼き）・運動会（苑内）・紅葉外出レク
12月	食事レク（おでん）・クリスマス会
1月	食事レク（山菜うどん）・新年祝賀会
2月	食事レク（おでん）・入浴レク（銭湯）・節分レク
3月	ひな祭レク・彼岸法要

## ○介護全般

1. 介護用品のコスト削減と接遇面の強化  
利用者の生活リズムの把握に努めているが介護用品費のコスト削減については横這い状態。業者からも情報を得、使用頻度・方法を参考にしている。接遇面においては惰性的になっている職員もみられ今後の課題である。
2. 栄養課との連携について  
1Fについては、ほぼ毎月食事（おやつ）レクを実施できた。
3. 職員育成について  
人事考課制度により評価等は実施できているが更にモチベーションの向上には繋げる事ができているかはまだ実感できていない状況もある。外部研修についても人員不足により参加する事ができない月も多くあった。
4. 記録のPC移行化  
日々のチェック表やケース記録は移行できている。29年度6月より栄光会で介護ソフトの統一がなされる為、継続して実施していく。

## ○ケアマネジメント関連

1. 施設サービス計画書について  
基本6ヶ月毎に見直しをしているが、入院等により解決すべき課題が生じた場合は速やかに見直しを実施している。また、新規入所者に関しては入所日までに仮プランを作成し入所後10日前後で見直しプランを作成しその後3ヶ月毎に見直しを実施しており課題整理統括表の作成にてニーズの引き出しを実施した。また全てのケアプランにおいて管理栄養士の協力の元、栄養プランと連動している。
2. サービス計画進行管理表について  
前年度に引き続き作成しプラン作成における不備防止に努めた。
3. 介護保険更新申請について  
有効期間の満了に向け滞りなく実施している。また心身の状態変化等に伴う区分変更申請も適宜実施した。
4. 相談員業務について  
相談員の元、協力し努めた。

## ○栄養士関連

### 1. 栄養ケアプランより

新規入所者のカンファレンスに家族様や本人の参加を積極的に実施した。また高リスクの利用者については月2回の体重測定を実施、褥瘡ケア記録の充実に取り組み、プランの連動を介護支援専門員と実施している。食事レクについてもインフルエンザの発生した3月を除きほぼ毎月開催をした。

### 2. 給食会議について

会議に介護職員の参加を促し現場の意見を反映させており、栄養士自身も日々ラウンドしている。行事食の試作や打合も綿密に実施し節電・節水にも取り組んでいる。

### 3. その他

- ・毎日ラウンドし日々の利用者情報の把握に努めている。
- ・食品衛生指導について、法人合同研修に取り入れ実施している。

## ○医務関連

- ・利用者の異常早期発見に努め、主治医との連携に努めた結果、前年度より入院者・入院日数ともに減少する事ができた。
- ・インフルエンザに関して、3月度に苑内で発生し利用者7名、職員3名の発病者を出してしまった。早期終息に努めたが、室温管理や湿度管理の徹底を図る事など課題が残った。
- ・介護部の事故が多く、技術向上や知識向上に尽力する必要性を強く感じた。

➤ 京都市百々老人デイサービスセンター

今年度より、地域密着型に移行となり基本単価が上がり、5月からは加算（サービス提供体制加算6単位⇒18単位）に変更した。

引き続き、節約に徹し（事務所の電気・暖房、廊下の電気、エアコンの温度設定等）なるべく支出を減らすように務め、また、業務改善（毎月定例職員会議の実施・ケア記録の実施等）を行い職員の意思統一をし、サービス向上に繋げた。

しかし、法人事業の運営上、百々デイサービスセンターの次期指定管理の更新を辞退することとなり、次年度からは他の法人が受託運営することとなった為、ご利用者様・家族様・ケアマネや地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に説明を行い、混乱ないように、またサービスが途切れることないように、円滑に移行調整を行った。

その結果36名の当センターご利用者は、デイサービスセンターきよみず苑（28名）、他のデイ（2名）、施設入所（3名）、次期指定管理法人デイ（3名）への移行となった。

当センター職員がデイサービスセンターきよみず苑に異動することで、多くの利用者さんが職員についてきていただけたことは職員の大きな誇りであり、きよみず苑デイに移行された利用者さんには、今後も引き続き安心してご利用いただけるサービスが提供できるよう次年度も努めてまいります。

1 利用の状況（平成28年度）

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者(人)
4月	26	37	354	13
5月	26	38	346	13
6月	26	37	326	12
7月	26	39	345	13
8月	27	38	365	13
9月	26	38	357	13
10月	26	38	362	13
11月	26	36	360	13
12月	27	35	364	14
1月	24	34	316	13
2月	24	33	279	11
3月	22	31	238	8
合計	306	434	4,012	12.4

参考 平成27年度の平均利用者数 13.5



2 介護度別の延利用日数 (日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護1	58	55	56	72	65	64	
介護2	129	110	98	97	91	85	
介護3	101	105	97	93	126	125	
介護4	28	26	24	27	28	30	
介護5	22	34	34	38	38	37	
計	338	330	309	327	348	341	
平均介護度	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7	
支援1	0	0	0	0	0	0	
支援2	16	16	17	18	17	16	
計	16	16	17	18	17	16	
合計	354	346	326	345	365	357	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	66	63	65	59	56	46	725
介護2	94	93	92	84	65	57	1,095
介護3	117	129	123	103	84	72	1,275
介護4	28	20	25	16	20	13	285
介護5	40	38	43	39	38	35	436
計	345	343	348	301	263	223	3,816
平均介護度	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
支援1	0	0	0	0	0	0	0
支援2	17	17	16	15	16	15	196
計	17	17	16	15	16	15	196
合計	362	360	364	316	279	238	4,012

参考 平成27年度延利用日数合計 4,157

3 研修受講及び行事等状況 (平成28年度)

行事

11月	紅葉外出レク
12月	クリスマス会
1月	初詣レク 山科中学正チャレンジ体験受け入れ
3月	百々デイお別れ食事会

施設外研修

5月	集団指導
7月	圏域内事業所連絡会
8月	キャリアパス対応研修 (中堅職員コース)
10月	普通救命講習
2月	京都市総合事業説明会
3月	自衛消防訓練

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑

平成 28 年度において、毎月定期的に入所選考を実施・待機者の確保に努め、退所が発生した際は円滑な入所を実施している。また、地域密着型事業所として 2 ヶ月毎に運営推進会議を実施し、近隣 3 学区の関係者との情報共有に努めた。

1 入居の状況 (平成 28 年度)

	入居者数 (人)			満床時延人数 (人)	延人数 (人)	充足率 (%)
	男性	女性	合計			
4 月	5	24	29	870	787	90.5
5 月	5	24	29	899	785	87.3
6 月	5	24	29	870	840	96.6
7 月	5	25	30	899	868	96.6
8 月	5	25	30	899	866	96.3
9 月	4	25	29	870	803	92.3
10 月	6	24	30	899	877	97.6
11 月	5	24	29	870	864	99.3
12 月	5	24	29	899	859	95.6
1 月	5	24	29	899	873	97.1
2 月	5	24	29	812	796	98.0
3 月	5	24	29	899	869	96.7
合計	60	291	351	10,585	10,087	
平均	5	24.3	29.3		840.6	95.3

参考 平成 27 年度の平均充足率は 76.1%

2 入院の状況 (平成 28 年度)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数 (人)	5	6	1	1	1	4	1	2	2	1	2	1	27
延人日 (人日)	77	114	30	10	28	67	5	6	40	26	5	23	431

3 入・退居の状況 (平成 28 年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
3	2	0	0	5	0	1	4	0	5

4 入居者の介護度 (平成 28 年度)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	割合
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2.9%
介護度 3	17	17	17	17	17	15	17	17	17	17	17	14	56.7%
介護度 4	10	10	10	10	11	10	10	9	9	9	9	11	33.9%
介護度 5	1	1	1	1	1	4	2	2	2	2	2	4	6.5%
平均	3.38	3.38	3.38	3.38	3.40	3.62	3.43	3.41	3.41	3.41	3.41	3.41	

参考 平成 27 年度 平均介護度は 3.35

5 入居者の年齢構成 (平成 28 年度末現在)

	~64	65~	70~	80~	85~	90~	95~	100~	計
人数	0	1	2	5	8	10	3	0	29
割合	0%	3.4%	6.9%	17.3%	27.6%	34.5%	10.3%	0%	100%

6 入居者の入居期間（平成 28 年度末現在）

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	5	19	5	0	0	0	0	29
割合	17.2%	65.6%	17.2%	0%	0%	0%	0%	100%

7 保険者の状況（平成 28 年度末現在）

	山科区	東山区	伏見区	上京区	左京区	計
人数	24	2	1	1	1	29
割合	82.9%	6.9%	3.4%	3.4%	3.4%	100%

➤ 介護老人福祉施設きよみず苑（ショートステイ）

平成 28 年度において、特養全体の職員の確保が安定せず、どうしてもショートステイユニットに職員不足のしわ寄せが行ったため当初計画していた稼働率には到達できなかった。

ただし新規の申し込みは増えているので、これらの方をリピーターとして定着していただけるように努力するとともに、送迎範囲の拡大や事務職員による送迎などにも着手した。

1 利用の状況（平成 28 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	8	4	12	300	95	31.7
5月	8	10	18	310	110	35.5
6月	11	10	21	300	140	46.7
7月	6	6	12	310	111	35.8
8月	8	7	15	310	135	43.5
9月	6	12	18	300	130	43.3
10月	6	11	17	310	87	28.1
11月	5	12	17	300	134	44.7
12月	4	12	16	310	126	40.6
1月	2	13	15	310	115	37.1
2月	5	13	18	280	128	45.7
3月	6	14	20	310	139	44.8
合計	75	124	199	3,650	1,450	
平均	6.2	10.3	16.5	304	121	39.7

参考：平成 27 年度 平均充足率 18.1%

2 介護度別の延利用者数（平成 28 年度）

（日）

	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	0	13	4	70	0	8	95	2.67
5 月	2	0	9	21	66	0	12	110	2.47
6 月	0	0	30	20	64	7	13	134	2.40
7 月	0	30	7	12	44	4	14	111	2.61
8 月	2	0	6	42	51	21	13	135	3.00
9 月	0	0	7	46	49	14	14	130	2.72
10 月	0	0	10	14	46	12	5	87	2.82
11 月	0	0	10	23	68	33	0	134	2.65
12 月	0	0	3	29	66	28	0	126	2.88
1 月	3	0	0	31	50	23	0	107	2.73
2 月	2	0	0	64	37	25	0	128	2.56
3 月	3	2	4	59	45	23	3	139	2.55
合計	12	32	99	365	656	190	82	1,436	
平均	1	2.6	8.3	30.4	54.7	15.8	6.8	119.7	2.64

参考：平成 27 年度 平均介護度 2.87

3 利用者の年齢構成（平成 28 年度末現在）

	～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計
人数	0	1	0	0	0	2	1	1	5
割合	0%	20%	0%	0%	0%	40%	20%	20%	100%

○研修受講状況（平成 28 年度）

施設内研修

4 月	口腔ケアについて① パーキンソン病について
5 月	口腔ケアについて② 夜間緊急時対応① 胃瘻の対応について
6 月	白癬について
7 月	危機管理について①
9 月	夜間緊急時対応②
10 月	インフルエンザ対策 普通救命講習
11 月	ノロウイルス対策 消防訓練（昼間想定）
1 月	褥瘡・尿路感染症について
2 月	危機管理②
3 月	普通救命講習 消防訓練（夜間想定） 土砂災害想定訓練

施設外研修

5月	京都市集団指導 社会福祉援助入門講座
7月	緊急時の介護
8月	地域密着型サービス合同研修 介護技術について 京都府機能訓練指導員研修 病気と薬（内科循環器編）
9月	病気とケア（整形外科編）
10月	フォローアップ研修 京都市ケアプラン研修
11月	百々学区総合防災訓練 アセスメントプランニング研修 地域密着協 医務との連携について 介護予防研修会
12月	介護用品展見学セミナー
1月	ユニットリーダー研修
2月	フォローアップ研修

○施設行事実施状況（平 28 年度）

4月	お花見レク（各ユニット）、お好み焼きレク
5月	母の日レク（各ユニット）、五月人形飾り作り
6月	父の日レク（各ユニット）、紫陽花ちぎり絵作り、お買いものサロン
7月	七夕飾り、ウクレレ演奏会、お買い物サロン
8月	地藏盆レク、百々学区夏祭り、流しそうめんレク、ギター演奏会、お買いものサロン
9月	外出レク、百々学区敬老の集い、きよみず苑敬老会、セブンイレブン買い物
10月	清水焼の郷祭
11月	外出レク（紅葉）
12月	外出レク（イルミネーション）、クリスマスレク、餅つき大会、
1月	初詣レク、
2月	開苑記念祭、節分レク

○相談援助

①入居者・家族との関わり

入居者・家族様とコミュニケーションを図り、信頼関係を築き本人本位のサービス提供が出来るように日々努めています。今年度は、敬老会に加えて開苑記念祭を実施し、多くの家族様に参加をして頂き、入居者・家族・職員の交流を深めることが出来ました。来苑時には日々の様子を報告し、思いや意向の把握に努めています。受診や入院の際の連絡など、情報共有をすることで1人ひとりに合わせた支援を行っています。

②入退居者への対応

入居の申し込みを受付けたら、随時面接を行い入居者選考委員会にて、緊急性・入居待機者の現状の把握に努めています。退居がある際は速やかに入所判定会議を開催し、スムーズな入居に向けて調整しています。

③地域への貢献

昨年度より、山科区内の市老協に加入している9施設より派遣された代表メンバーを中心に、地域の高齢者福祉意識の向上を目的とした、「山科地域貢献プロジェクト」の活動に参加しています。認知症介護者養成講座の企画・開催や、ふれあいやましの区民祭りでの広報活動、社会福祉協議会関連での施設紹介など、地域の方との交流、他施設と関係の構築を図っています。

## ○介護関連

職員の人材不足から、計画していた入居者様のサークル活動は、実現できなかった。

職員間での注意喚起できるユニット作りを掲げたが、意見交換は出来ても意見を発展させ、職員一人一人が、自身の課題として認め改善するまでには至らなかった。

ただし、今年度の活動を踏まえて、ユニットリーダーらが意識して改善する基盤が出来たことは評価できると思う。

常に、安全を意識したため転倒事故による骨折なども無く、入院件数も減少し、稼働率の維持は出来たと感じている。

## ○医務関連

### ①健康管理

嘱託医の指示により定期的に採血を実施している（1回/3ヶ月）、状態に応じて必要時は臨時検査も行っており異常の早期発見に努めている。胸部レントゲン撮影を8月5日に実施している（1回/年）。レントゲンの結果、異常所見は認めていない。入居者の日々の体調管理及び訴えや変化に注意して早期に対応を行っていたが、6名が（内1名は4回）入院となった。（疾患名：大腿骨頸部骨折、認知症悪化、意識消失、誤嚥性肺炎、尿路感染症等）

### ②感染予防と衛生管理

インフルエンザの感染予防のために予防接種を11月後半に実施した。（入居者27名、サ高住11名、職員49名）感染・褥瘡防止委員会が中心となり、勉強会及び感染症別対応マニュアルの見直し・追加項目等マニュアルの充実を図った。苑内での勉強会は白癬について6月8日・6月16日・6月24日に実施した（計3回12名参加）。ノロウイルス対策として11月24日・11月28日に実施した（計2回32名参加）。前年度、尿路感染に罹患する利用者が増加した為、対策として尿路感染症・褥瘡についての勉強会を1月16日・1月23日に実施した（計2回14名参加）。

### ③褥瘡予防

定期採血の結果から、管理栄養士と情報を共有して低栄養・同一体位による皮膚圧迫・摩擦・ズレなどの褥瘡発生しやすい入居者に対して評価を行い悪化防止に努めている。また、皮膚の異常が見られたら速やかに医師に報告し対応した。また、褥瘡・拘縮予防のためにクッションや枕等活用して適切な体位の保持ができるように工夫している。

## ○栄養士関連

### ①栄養ケアマネジメント

京都市実施指導の際、指摘された“アセスメントシートを反映した計画書作り”を心がけ、個人のニーズや家族の意向に合わせ、他職種とのカンファレンスを行い、ニーズに沿った栄養ケアを立案しケアプランと連動した栄養ケア計画書を作成、個人が達成できる目標を立て実施し、都度見直し更新した。またモニタリングは低リスクであっても毎月実施し、入居者の状態を把握した。食欲不振の入居者様を近くの喫茶まで一緒に外出し、少しでも摂取してもらえよう工夫を行った。

### ②食事の提供

施設行事の餅つきでは事故や感染症の発症なく安全に提供することができた。また、初の試みである開苑記念祭の食事は委託給食会社と協力し、屋台風バイキング形式の食事提供を行った。

面前提供の際にはテーブルクロスを引いたり、握り寿司のお品書きを作成したりといつもより明るい雰囲気を作り行事感を出したり等、厨房と一丸となって盛り上げ、入居者に喜んでもらえる食事を提供した。

行事食の際には箸袋・お品書きを作成し、特別感を感じ入居者に喜んでもらえる、また記憶に残るような工夫をした。また食事レクの際には保存食を必ず採取し安全に努めた。

### ③情報の共有・提供

本体施設である東旺苑の管理栄養士と毎月給食委員会を開催し、改善点や食事提供方法等について検討・情報共有をし、食事に反映できるよう努めた。またfacebookの活用、積極的な市老協食事部会への出席、運営推進会議への参加等を実施し外部への情報発信を実施した。

嗜好調査を実施・集計を行い、栄養士だよりにて入居者・家族、各部署へ公表した。

➤ デイサービスセンターきよみず苑

無料体験利用された方がほぼ全件契約につながったことや、6月より曜日期間限定で地域の洋菓子店からケーキを購入し、利用者に提供することで、他のデイとの差別化を図り利用者の獲得につなげることができた。

10月施設入所やご逝去された方が多く、利用者数が落ち込んでしまったが、下半期に予定していた百々デイからの利用者受け入れ枠確保の必要性があり、新規の利用者受付が困難な状態であった。また、昨年度と同じく、デイサービスをきっかけにして、きよみず苑ショートステイの利用につながったケースが多くあった。その間デイサービスの利用は中断するため、デイサービスとしては延べ利用者数が落ちるものの、きよみず苑全体としての利益には貢献したと思われる。

29年度、栄光会のデイサービスはきよみず苑デイのみとなる事から、更なる業務改善を実施して、利用者には選ばれるデイサービスを目指し、目標数値達成に向けて努力をいたします。

1 利用の状況（平成28年度）

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	21	38(6)	264(69)	12.6(3.3)
5月	22	43(8)	294(86)	13.4(3.9)
6月	22	43(8)	326(87)	14.8(3.9)
7月	21	41(8)	319(87)	15.2(4.1)
8月	23	45(11)	364(118)	15.8(5.1)
9月	22	47(11)	369(122)	16.8(5.5)
10月	21	45(8)	319(89)	15.2(4.2)
11月	22	44(7)	347(85)	15.8(3.9)
12月	21	45(9)	356(96)	17.0(4.6)
1月	20	44(9)	317(102)	15.9(5.1)
2月	20	48(8)	335(93)	16.8(4.7)
3月	23	60(8)	425(104)	18.5(4.5)
合計	258	543(101)	4,035(1,138)	15.6(4.4)

※ ( )内は~~+~~高住入居者

参考：平成27年度1日平均利用者数 8.1人

2 介護度別の延利用者数 (平成 28 年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 1	61	72	93	86	96	97	75	77	76	64	53	68	918
介護 2	107	107	85	96	105	92	70	70	65	78	92	122	1,089
介護 3	37	42	24	36	68	72	67	112	133	105	128	169	993
介護 4	11	21	44	34	46	42	37	21	24	21	19	28	348
介護 5	8	9	7	9	3	6	5	5	7	7	7	7	80
<b>計</b>	<b>224</b>	<b>251</b>	<b>253</b>	<b>261</b>	<b>318</b>	<b>309</b>	<b>254</b>	<b>285</b>	<b>305</b>	<b>275</b>	<b>299</b>	<b>394</b>	<b>3,428</b>
支援 1	15	12	19	15	17	19	14	12	10	8	8	10	159
支援 2	25	31	27	24	29	28	35	41	36	26	16	21	339
申請中	0	0	27	19	0	13	16	9	5	8	12	0	109
<b>計</b>	<b>40</b>	<b>43</b>	<b>73</b>	<b>58</b>	<b>46</b>	<b>60</b>	<b>65</b>	<b>62</b>	<b>51</b>	<b>42</b>	<b>36</b>	<b>31</b>	<b>607</b>
<b>合計</b>	<b>264</b>	<b>294</b>	<b>326</b>	<b>319</b>	<b>364</b>	<b>369</b>	<b>319</b>	<b>347</b>	<b>356</b>	<b>317</b>	<b>335</b>	<b>425</b>	<b>4,035</b>
平均介護度	1.89	1.96	1.94	1.98	2.04	2.04	2.4	2.2	2.29	2.33	2.40	2.15	
稼働率(%)	50.3	53.5	59.2	60.8	63.3	67	60.8	63	67.8	63.4	67	73.9	62.5

参考 平成 27 年度延利用者合計 2,097 人

3 研修受講及び行事等状況

施設内研修

28. 5	個人情報・プライバシー保護について
28. 7	事故発生防止・緊急時対応
28. 8	特浴研修・気管切開について
28. 11	自衛消防訓練

施設外研修

28. 11	京都市総合事業説明会
29. 01	介護セミナー ヤクルトセミナー
29. 02	京都市総合事業説明会 安全運転送迎講習
29. 03	3 学区 福祉フェア



➤ ヘルパーステーションきよみず苑

サ高住併設のヘルパーステーションで、入居者を対象に介護保険及び自費にて訪問派遣を実施しています。そのためサ高住の入居状況により派遣件数が推移し、現在ご入居の23名(21件)中17名(74%)が御利用になっています。外部(苑外)派遣数は昨年度と変動無く4件ですが、次年度早々に1件新規が入っています。今後も、近距離の外部派遣依頼は出来るだけ受け入れていきます。

全体的には、前年度に比べ派遣数が急増しています。サ高住担当者等と連携し新規入居者や利用者獲得のため営業活動の強化を図った結果だと思われ、次年度も各部署とさらに協力し合っていきます。

開設当初は比較のお元気な方の入居が大半を占めていましたが、高齢化に伴い入居者様の日常生活動作に手助けを必要とされる方も増え、また派遣回数を増回する必要がある方もでてきています。それに伴い、特に早朝帯に派遣希望が集中しています。

また、派遣件数の変動の原因のひとつに入居者の入院があります。長期の入院になっても、サービス付き高齢者向け住宅の介護力をあてに退院してこられるので、別途訪問先を入れるわけにもいかず、結果的に非効率な運用になっています。対策として、入院等にならないように声かけし、こまめに心身の状況確認を実施するように心がけています。しかし、これが高ざると利用者との逆に距離が近くなりすぎ、さまざまなニーズを掘り起こす結果になる場合もあります。今後はヘルパーとしての援助のスタンスを、利用者の理解を得ながら、一定の範囲に設定することが必要と思われます。

① 介護度別利用者数 (平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
要支援2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
要介護1	4	5	5	4	5	4	5	4	4	3	3	3	49
要介護2	6	7	5	5	4	5	5	6	7	9	8	7	74
要介護3	2	3	4	4	6	6	6	5	6	5	6	7	60
要介護4	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	17	16	16	18	19	20	18	20	20	20	20	219

参考：平成27年度 延利用者数 105

② 月別派遣数 (平成28年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援	要支援1	0	0	0	4	3	5	5	0	0	0	0	0
	要支援2	13	12	13	12	13	13	13	11	12	12	11	11
	合計	13	12	13	16	16	18	18	11	12	12	11	11
要介護	身体介護	108	124	125	87	108	138	203	207	222	240	228	246
	生活介護	72	80	64	79	101	90	86	85	81	86	80	74
	身体生活	3	4	4	1	3	5	4	7	4	6	4	11
	合計	183	208	193	167	212	233	293	299	307	332	312	331
介護保険外		75	76	83	87	100	113	87	62	67	54	54	62
総合計		271	296	289	270	328	368	398	372	386	398	377	404

参考：平成27年度 総派遣数 1,883件

平成28年度 総派遣数 4,157

➤ ケアプランセンターきよみず苑

平成28年3月よりケアプランセンター百々の利用者を統合し、サービス付き高齢者向け住宅の入居者と、山科区在住の外部利用者の居宅介護支援業務を行ってきた。

サービス付き高齢者向け住宅の入居者は認知症の方も多く、施設内徘徊や、服薬ミス忘れに対し、ヘルパーと協力して、入居者への対応に時間を費やすことが多々起こる。また、直接担当ではない要支援者への認定調査や、他県への介護保険関係での契約等付加的な業務もあるが、入居者のニーズに応えるため、優先して行っている。

外部利用者の獲得も行っているものの、施設入所や死亡による件数低下が起こっている。ケアマネジャー2名体制で行っているが、統合から一年を経て、サービス付き高齢者向け住宅独自の問題に対応したケアマネジメントにも徐々に慣れてきた。入居申込者の対応は急いでいるケースが多く、事務職、ヘルパー、デイサービスと連携して、迅速な対応が出来るようになってきている。

地域との連携としては、勧修地域包括の主催の圏域内事業所連絡会や、地域ケア会議への参加、また、山階南小学校での福祉フェアのスタッフとしての参加で、地域とつながる行事へも積極的に参加している。

1 介護度別の給付管理数 (平成28年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	11	13	10	8	9	9	10	10	9	7	8	10	114
介護2	25	24	24	24	21	21	16	17	17	17	16	16	238
介護3	12	14	18	18	22	22	21	21	20	20	20	19	227
介護4	8	8	7	7	7	9	9	8	8	7	8	8	94
介護5	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
計	58	61	61	59	60	62	57	57	55	52	53	54	689
平均介護度	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.56	2.53	2.55	2.5	2.5	2.5	2.5

参考 平成27年度 合計管理数 154件

2 介護予防委託数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
勧修	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
日ノ岡	2	2	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	11
計	2	2	1	2	3	3	2	1	1	1	1	2	21

参考 平成27年度延管理数 13

3 研修受講状況

施設外研修

28.04	京都府介護支援専門員研修
28.05	やましな認知症サポート連絡会
28.10	京都市ケアプラン研修
28.11	アセスメントプランニング研修
28.12	京都府介護支援専門員更新研修
29.03	勧修包括主催福祉フェア 特養における認知症ケア強化研修

➤ きよみず苑クリニック

1 受診状況（平成 28 年度）

年月	受診件数（サ高住）	受診件数（SS・DS）	受診件数（職員）	特養	請求件数
4月	6	0	4	25	35
5月	9	1	6	26	42
6月	7	0	2	27	36
7月	7	0	4	26	37
8月	10	0	4	28	42
9月	12	0	3	27	42
10月	8	0	3	29	40
11月	7	1	2	28	38
12月	8	0	2	27	37
1月	7	1	2	27	37
2月	9	0	3	28	40
3月	11	1	2	29	43
合計	101	4	37	327	469

参考 平成 27 年度の月平均請求件数は 28.8 件

平成 28 年度は月平均 39.1 件

○インフルエンザ関係

ワクチン請求本数	40 バイアル	
使用本数	39 バイアル	
職員接種人数	49 名	合計 87 名
サ高住接種人数	11 名	
特養接種人数	27 名	

医療経費関係

消毒液については全事業所で使用（発注・保管管理はクリニック）

➤ サービス付き高齢者住宅きよみず苑・京都東

開設後3年目を迎え、年度内に12件の入居はあったものの、入居後2年近く経過した高齢者の心身の低下が多発し、年度内に9名が退去した。退去のおもな原因は、加齢による疾病の増悪による入院である。介護度(4月平均1.7 ⇒ 翌2月平均2.03)や疾病の悪化により、サービス付き高齢者向け住宅での生活が困難になり、やむを得ず退去するケースが増えてきている。

これらの対策として、多くの入居者を獲得することと併せて、サービス付き高齢者向け住宅での介護システムの増強を図ることが大切であると判断した。ただし介護力の増強には、人的コストに直接的な影響を与えるため、特に手薄になっている夜間帯への対応策として、夜間対応型訪問介護などの外部サービスの利用の導入をすすめた。さらに入居者の悪化防止の取り組みとして、健康教室や苑内行事の充実を図ってきた。

山科区をはじめ、隣接区や大津市にも多数のサービス付き高齢者向け住宅が新設されている中で、当苑としては「質の高いサービスの提供」「社会福祉法人の信頼性の高さ」「全室バストイレとキッチン付き」「クリニックと特別養護老人ホーム併設」などのメリットを前面に打ち出し、継続して山科区、近隣区や大津市のケアプランセンターや地域包括支援センターおよび病院や老人保健施設に対し、個別の営業・周知活動をおこなった。

また、不動産紹介サイトなどのウェブを利用した広報や折り込みチラシ、京都リビング新聞広告による周知活動のほか、「清水焼の郷まつり」など地域のイベントも活用し、周知を図った。その他、山科区や大津市で行政が主催する介護事業者連絡会にも積極的に参加し、幅広い地域での広報活動に力を入れてきた。

さらに、公益社の行ういわゆる「終活セミナー」に参画させてもらい、参加した高齢者に対し、パワーポイントによる講演を実施するなど、きよみず苑をアピールする機会を複数回得た。あわせて、各郵便局内の配架ラックへのパンフレット配置、関西タクシー車内へのパンフレット配置、京都市刊行物(暮らしのてびき)への広告掲載などさまざまな媒体を活用し、周知を図る努力をした。

これらの広報で来られた方に対し、専門的な見地からの助言やアドバイスを行うことで、迅速かつ満足を得られる対応を行った。今後は、さらにこの相談機能を発展させ、見学者への対応として「ケアマネジャーによる高齢者介護相談」「司法書士による相続・遺言相談」「看護師による健康相談」など、高齢者の日ごろの疑問に答えるような見学相談会を前面に打ち出して、きよみず苑のよさをアピールしていく。

1 入居の状況(月末の契約数)

	入居室数 (月末)	入居者数(人)		
		男性	女性	合計
4月	18	8	12	20
5月	21	10	14	24
6月	22	10	15	25
7月	22	10	15	25
8月	23	10	16	26
9月	23	10	16	26
10月	24	9	17	26
11月	23	8	17	25
12月	23	8	17	25
1月	23	8	17	25
2月	21	8	15	23
3月	21	7	16	23

参考 平成27年度 平均入居者数 16.1人

2.入居者の介護度(人)(平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合(%)
自立	1	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	26	8.9
要支援1	2	3	2	2	2	3	3	4	4	4	3	3	35	12
要支援2	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	2	24	8.3
要介護1	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	32	11
要介護2	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	7	8	91	31.3
要介護3	3	4	5	6	8	7	7	7	7	7	7	5	72	24.7
要介護4	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11	3.8
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	24	25	25	26	26	26	25	25	25	23	23	291	100
平均介護度	1.7	1.72	1.83	1.92	1.98	1.96	1.96	1.99	1.99	1.99	2.03	1.9	1.92	

参考：平成27年度平均介護度 1.51

3.入居者の年齢構成(28年3月末)

年齢	~64歳	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	85歳~	90歳~	95歳~	100歳~	計
人数	0	0	1	0	3	11	6	2	0	23
割合(%)	0	0	43	0	131	47.8	26.1	8.7	0	100

➤ 法人合同研修

実施状況(平成28年度)

開催月	研修名	講師	参加者数
4月	① ビジネスマナー(接遇)について	平野事務長	59名
5月	委託給食会社変更による説明	藏ウェルフェア	75名
6月	熱中症・脱水・食中毒について	大塚製薬・施設管理栄養士	70名
7月	改定・就業規則について/法令遵守について	橋統括施設長・平野事務長	71名
8月	高齢者の権利擁護と虐待防止について	田中苑長	67名
9月	② ビジネスマナー(接遇)について	平野事務長	55名
10月	インフルエンザ・感染症予防と対策について	小山主任・中島副主任	73名
11月	人事考課と人材育成について(役職者対象)	橋統括施設長	16名
12月	感染性胃腸炎(ノロウイルス)の予防と対策	渡邊主任・津田主任	39名
1月	③ ビジネスマナー(接遇)について	平野事務長	40名